

第2問対策 第1回 (問題用紙)

(1) 次の [資料] にもとづいて、答案用紙の各勘定に記入しなさい。定額法にもとづき減価償却が行われており、減価償却費は月割計算によって計上する。なお、備品甲は当期中に売却(売却価額 ¥192,000)しており、売却時に減価償却費を計上している。会計期間は3月31日を決算日とする1年である。

[資料]

	取得日	取得原価	耐用年数	残存価額
備品甲	×7年 4月1日	¥ 720,000	5年	ゼロ
備品乙	×9年 4月1日	¥ 1,296,000	6年	ゼロ
備品丙	×10年 10月1日	¥ 792,000	5年	ゼロ

(2) 佐古家具株式会社と株式会社井脇ホームズは主たる営業活動として家具の販売を行っており、それぞれ商品発送時に売上、商品受取時に仕入を計上している。そこで、以下の証票にもとづき、間に答えなさい。なお、佐古家具は商品を発送した際に、井脇ホームズへ請求した額と同額の発送費を現金で支払っている。

納品書 兼 請求書			
株式会社井脇ホームズ 御中		×10年 4月 15日	
		佐古家具株式会社	
品名	数量	単価	金額
会議用机	10	144,000-	¥1,440,000
送料	-	-	¥120,000
合計			¥1,560,000
X10年5月25日までに合計額を下記口座にお振り込みください。			
中央銀行駅前支店 普通 1234567 サコカグ(カ)			

当座勘定照合表 (抜粋)				
株式会社井脇ホームズ 御中			×10年 5月 30日	
			岩商銀行 伊勢支店	
取引日	摘要	お支払金額	お預り金額	取引残高
5.25	お振込 サコカグ(カ)	1,560,000		省略
5.25	お振込手数料	840		
...	....	...	...	

問 下記の取引時の仕訳をそれぞれ答えなさい。解答にあたって、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選び、答案用紙の ( ) の中に記号で解答すること。

- ① 佐古家具が井脇ホームズへ商品を発送し、配送業者に送料を支払った時(送料も含めた金額で代金を請求する)
- ② 井脇ホームズが佐古家具から商品を受け取った時
- ③ 井脇ホームズが佐古家具に代金を振り込んだ時
- ④ 佐古家具が井脇ホームズより代金の振り込みを受けた時

[語群] ア. 現金 イ. 普通預金 ウ. 当座預金 エ. 売掛金 オ. 買掛金 カ. 売上  
キ. 受取手数料 ク. 仕入 ケ. 支払手数料 コ. 発送費

第2問対策 第1回 (答案用紙)

(1)

備 品

日付			摘要	借方	日付			摘要	貸方
×10	4	1	前期繰越	( )	×10	9	30	諸口	( )
	10	1	普通預金	( )	×11	3	31	次期繰越	( )
				( )					( )
×11	4	1	前期繰越	( )					

備品減価償却累計額

日付			摘要	借方	日付			摘要	貸方
×10	9	30	備品	( )	×10	4	1	前期繰越	648,000
×11	3	31	次期繰越	( )	×11	3	31	減価償却費	( )
				( )					( )
					×11	4	1	前期繰越	( )

(2)

	借方		貸方	
	記号	金額	記号	金額
①	( )		( )	
	( )		( )	
	( )		( )	
②	( )		( )	
	( )		( )	
	( )		( )	
③	( )		( )	
	( )		( )	
	( )		( )	
④	( )		( )	
	( )		( )	
	( )		( )	

第2問対策 第1回 (模範解答)

(1) □ 6か所×2点=12点

備						品						
日付			摘要	借方	日付			摘要	貸方			
×10	4	1	前期繰越	( 2,016,000)	×10	9	30	諸口	( 720,000)			
	10	1	普通預金	( 792,000)	×11	3	31	次期繰越	( 2,088,000)			
				( 2,808,000)					( 2,808,000)			
×11	4	1	前期繰越	( 2,088,000)								

備品減価償却累計額

日付			摘要	借方	日付			摘要	貸方			
×10	9	30	備品	( 432,000)	×10	4	1	前期繰越	648,000			
×11	3	31	次期繰越	( 511,200)	×11	3	31	減価償却費	( 295,200)			
				( 943,200)					( 943,200)			
					×11	4	1	前期繰越	( 511,200)			

(2) 各2点×4問=8点

	借方		貸方	
	記号	金額	記号	金額
①	( エ )	1,560,000	( カ )	1,560,000
	( コ )	120,000	( ア )	120,000
	( )		( )	
②	( ク )	1,560,000	( オ )	1,560,000
	( )		( )	
	( )		( )	
③	( オ )	1,560,000	( ウ )	1,560,840
	( ケ )	840	( )	
	( )		( )	
④	( イ )	1,560,000	( エ )	1,560,000
	( )		( )	
	( )		( )	

第2問対策 第2回-1 (問題用紙)

- (1) 下記の取引等にもとづいて、当期(×10年4月1日から×11年3月31日)における利息に関連した答案用紙の2つの勘定の空欄にあてはまる適切な語句または金額(次期の開始記入も含む)を答えなさい。入出金はすべて普通預金とし、利息の計算は受払いも含めてすべて月割計算とする。なお、関係する前年度の取引も含まれている。空欄は(日付)[摘要]〈金額〉の順である。

【解答上の注意事項】

- 空欄がすべて埋まるとは限らない。
- 空欄は取引等の記録順に上から詰めて記入すること。
- (日付)の空欄は採点対象としないため、空欄のままでもよい。
- [摘要]の勘定科目等は、以下から選択して、**ア～サの記号**で記入しなさい。また、勘定科目等は  
この設問の中で複数回使用してよい。  
ア. 普通預金 イ. 前払利息 ウ. 未収利息 エ. 貸付金 オ. 未払利息 カ. 前受利息 キ. 支払利息  
ク. 受取利息 ケ. 損益 コ. 前期繰越 サ. 次期繰越
- 解答欄の【 】利息の空欄には、前払、未収、未払、前受の4つのうちいずれかが入る。

×10年2月1日 取引先に対して¥6,300,000(利率年1.2%、期間1年)を、1年分の利息を差し引いて貸し付けた。

×10年3月31日 決算に際し、必要な記入を行った。

×10年4月1日 期首に際し、再振替仕訳を行った。

×10年12月1日 取引先に対して¥7,560,000(利率年1.5%、期間1年)を、1年分の利息を差し引いて貸し付けた。

×11年3月31日 決算に際し、必要な記入を行った。

第2問対策 第2回-2 (問題用紙)

(2) 次の文の空欄にあてはまる最も適切な語句を選択して、正しい文章を完成させなさい。ただし、使用する語句は、設問ごとに最も適切と思われるものを選び、答案用紙に記号で解答すること。

1. ( ① ) は、( ② ) により、一定時点における企業の ( ③ ) を明らかにする計算書である。  
ア. 経営成績 イ. 損益計算書 ウ. 財政状態 エ. 貸借対照表 オ. 費用・収益 カ. 資産・負債・資本
2. ( ④ ) は、( ⑤ ) により、一定期間における企業の ( ⑥ ) を明らかにする計算書である。  
ア. 資産・負債・資本 イ. 財政状態 ウ. 損益計算書 エ. 経営成績 オ. 費用・収益 カ. 貸借対照表
3. 決算において、選択肢の中で最初に行われることは ( ⑦ ) である。  
ア. 当期純利益の確定 イ. 決算整理仕訳 ウ. 試算表の作成 エ. 帳簿の締切  
オ. 未払法人税等の計上 カ. 決算振替仕訳
4. ( ⑧ ) のうち、取引の仕訳を日付順に記入する帳簿を ( ⑨ ) といい、( ⑨ ) から転記が行われる、すべての勘定口座をまとめた帳簿を ( ⑩ ) という。  
ア. 総勘定元帳 イ. 補助簿 ウ. 仕訳帳 エ. 現金出納帳 オ. 振替伝票 カ. 主要簿
5. 建物の改築と修繕を行った場合、建物の現状を維持するための支出については ( ⑪ ) といい ( ⑫ ) 勘定で処理するが、建物の資産価値を高める部分の支出については ( ⑬ ) といい ( ⑭ ) 勘定で処理する。  
ア. 資本的支出 イ. 建物減価償却累計額 ウ. 建物 エ. 修繕費 オ. 収益的支出 カ. 減価償却費

第2問対策 第2回 (答案用紙)

(1)

受 取			利 息		
( ) [            ] <            >			( ) [            ] <            >		
( ) [            ] <            >			( ) [            ] <            >		
		<            >			<            >

【            】			利 息		
( ) [            ] <            >			( ) [            ] <            >		
( ) [            ] <            >			( ) [            ] <            >		
		<            >			<            >
			4/1 [            ] <            >		

(2)

1. 

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

2. 

④		⑤		⑥	
---	--	---	--	---	--

3. 

⑦	
---	--

4. 

⑧		⑨		⑩	
---	--	---	--	---	--

5. 

⑪		⑫		⑬		⑭	
---	--	---	--	---	--	---	--

第2問対策 第2回 (模範解答)

(1)  5か所×2点=10点

受 取		利 息	
(3/31)	[ カ ] < 75,600 >	(4/1)	[ カ ] < 63,000 >
( 〃 )	[ ケ ] < 100,800 >	(12/1)	[ エ ] < 113,400 >
	< 176,400 >		< 176,400 >

【 前 受 】		利 息	
(4/1)	[ ク ] < 63,000 >	(4/1)	[ コ ] < 63,000 >
(3/31)	[ サ ] < 75,600 >	(3/31)	[ ク ] < 75,600 >
	< 138,600 >		< 138,600 >
		4/1	[ コ ] < 75,600 >

(2) 全問正解で各問2点×5か所=10点

1. 

①	エ	②	カ	③	ウ
---	---	---	---	---	---

2. 

④	ウ	⑤	オ	⑥	エ
---	---	---	---	---	---

3. 

⑦	ウ
---	---

4. 

⑧	カ	⑨	ウ	⑩	ア
---	---	---	---	---	---

5. 

⑪	オ	⑫	エ	⑬	ア	⑭	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---

第2問対策 第3回 (問題用紙)

- (1) 次の【資料】にもとづいて、各勘定口座に記入しなさい。[ ]には【語群】から適切な語句を選択してア～ケの記号で記入し、〈 〉には金額を記入すること。( )の日付欄は採点カ所としないため記入しなくてもよい。なお、決算は年1回、毎年3月31日であり、当期の会計期間は×5年4月1日から×6年3月31日である。

【資料】 法人税等に関する取引

- ×4年11月25日 中間申告を行い、¥756,000を普通預金口座から納付した。
- ×5年3月31日 決算において確定額が¥1,596,000と算定されたため、中間納付額を差し引いた金額を未払計上した。
- ×5年5月27日 前期にかかる確定申告額を普通預金口座から納付した。
- ×5年11月30日 前期確定額の半額を中間納付額として、普通預金口座から納付した。
- ×6年3月31日 決算において、税引前当期純利益(法人税等を控除する前の利益)の30%を法人税等の確定額とし、中間納付額を差し引いた金額を未払計上する。

【語群】

- ア. 諸ロイ. 普通預金ウ. 損益エ. 法人税等オ. 仮払法人税等
- カ. 未払法人税等キ. 前期繰越ク. 次期繰越ケ. 繰越利益剰余金

- (2) 次の【資料】にもとづいて、下記の問題に答えなさい。なお、商品売買取引の処理は3分法により行っている。

【資料】 ×10年6月中の取引

- 5日 甲商品 84個を@¥1,000で売り上げた。
- 8日 5日に売り上げた甲商品のうち14個が返品された。
- 12日 甲商品 210個を@¥616で仕入れた。
- 22日 甲商品 252個を@¥980で売り上げた。

問1 移動平均法により、答案用紙の商品有高帳を作成しなさい。なお、8日の売上戻りについては、受入欄に記入すること。

問2 移動平均法にもとづいた場合の、6月のX商品の売上総利益を求めなさい。

第2問対策 第3回 (答案用紙)

(1)

仮払法人税等																												
( ) [ ] < <u>                    </u> >	( ) [ ] < <u>                    </u> >																											
未払法人税等																												
( ) [ ] <                      >	4/1 [ ] <                      >																											
( ) [ ] < <u>                    </u> >	( ) [ ] < <u>                    </u> >																											
<u>                    </u>	<u>                    </u>																											
法人税等																												
( ) [ ] < <u>                    </u> >	( ) [ ] < <u>                    </u> >																											
損 益																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">3/31</td> <td style="width: 40%;">仕 入</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">26,250,000</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>給 料</td> <td style="text-align: right;">2,940,000</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>その他費用</td> <td style="text-align: right;">840,000</td> </tr> <tr> <td>( ) [ ]</td> <td>&lt;                      &gt;</td> <td></td> </tr> <tr> <td>( ) [ ]</td> <td>&lt; <u>                    </u> &gt;</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>&lt; <u>                    </u> &gt;</td> <td></td> </tr> </table>	3/31	仕 入	26,250,000	〃	給 料	2,940,000	〃	その他費用	840,000	( ) [ ]	<                      >		( ) [ ]	< <u>                    </u> >			< <u>                    </u> >		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">3/31</td> <td style="width: 40%;">売 上</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">35,700,000</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td></td> <td>&lt; <u>                    </u> &gt;</td> <td></td> </tr> </table>	3/31	売 上	35,700,000	/				< <u>                    </u> >	
3/31	仕 入	26,250,000																										
〃	給 料	2,940,000																										
〃	その他費用	840,000																										
( ) [ ]	<                      >																											
( ) [ ]	< <u>                    </u> >																											
	< <u>                    </u> >																											
3/31	売 上	35,700,000																										
/																												
	< <u>                    </u> >																											

(2)  
問1

商 品 有 高 帳  
甲 商 品

(移動平均法)

×10年	摘 要	受 入			払 出			残 高			
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	
6	1	前月繰越	140	600	84,000				140	600	84,000
		売 上				( )	( )	( )	( )	( )	( )
		売上戻り	( )	( )	( )				( )	( )	( )
		仕 入	( )	( )	( )				( )	( )	( )
		売 上				( )	( )	( )	( )	( )	( )
		次月繰越				( )	( )	( )			
			( )	—	( )	( )	—	( )			

問2 ¥

第2問対策 第3回 (模範解答)

(1)		仮払法人税等	
(11/30)	[ イ ]	< 798,000★ >	(3/31) [ エ ] < 798,000 >
未払法人税等			
(5/27)	[ イ ]	< 840,000★ >	4/1 [ キ★ ] < 840,000 >
(3/31)	[ ク ]	< 903,000 >	(3/31) [ エ ] < 903,000★ >
		< 1,743,000 >	< 1,743,000 >
法人税等			
(3/31)	[ ア ]	< 1,701,000★ >	(3/31) [ ウ ] < 1,701,000 >
損 益			
3/31	仕 入	26,250,000	3/31 売 上 35,700,000
〃	給 料	2,940,000	
〃	その他費用	840,000	
( 〃 )	[ エ ]	< 1,701,000 >	
( 〃 )	[ ケ★ ]	< 3,969,000 >	
		< 35,700,000 >	< 35,700,000 >

★×2点6か所=12点

(2)  
問1

商 品 有 高 帳  
甲 商 品

(移動平均法)

×年	10	摘 要	受 入			払 出			残 高		
			数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
6	1	前月繰越	140	600	84,000				140	600	84,000
	5	売 上				(84)	(600)	(50,400)	(56)	(600)	(33,600)
	8	売上戻り	(14)	(600)	(8,400)				(70)	(600)	(42,000)
	12	仕 入	(210)	(616)	(129,360)				(280)	(612)	(171,360)
	22	売 上				(252)	(612)	(154,224)	(28)	(612)	(17,136)
	30	次月繰越				(28)	(612)	(17,136)			
			(364)	-	(221,760)	(336)	-	(204,624)			

問2 ￥ 120,736

   ×2点×4カ所=8点

第2問対策 第4回 (問題用紙)

(1) 下記の取引等にもとづいて、答案用紙の3つの勘定を完成させなさい。なお、会計期間は×8年4月1日から×9年3月31日までの1年間である。

[解答上の留意事項]

- 空欄は(日付)[概要]<金額>の順である。(日付)は採点対象としないため、空欄のままでもよい。
- 解答にあたり、摘要欄の勘定科目等は以下から選択して、答案用紙の[ ]の中にア～クの記号で記入しなさい。また、勘定科目等はこの設問の中で複数回使用してよい。

ア. 未払配当金 イ. 未払法人税等 ウ. 利益準備金 エ. 繰越利益剰余金 オ. 法人税等  
カ. 損益 キ. 前期繰越 ク. 次期繰越

1. 6月28日の株主総会において、繰越利益剰余金から次のとおり配当金の支払い等を行うことを決議した。実際に配当金を支払うのは7月以降である。

配当金：¥450,000      利益準備金 ¥45,000

2. 3月31日に決算日をむかえ、必要な決算整理を行う。決算整理は次の[資料]にもとづいて、仕入および法人税等の金額を求めること。なお、「その他費用」は出題の便宜上、仕入と法人税等以外の費用をまとめたものである。

[資料]

- |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. 期首商品棚卸高：¥ 3,600,000       | 4. 売上原価は仕入勘定で算定する。           |
| 2. 決算整理前の仕入勘定残高：¥ 32,400,000 | 5. 税引前の当期純利益の30%を法人税等として計上する |
| 3. 期末商品棚卸高：¥ 4,500,000       |                              |

(2) 次の文章の(①)から(⑤)にあてはまる最も適切な語句を下記の語群から選び、ア～シの記号で答えなさい。

1. 3伝票制において、現金の入出金を伴わない取引は(①)伝票に記入する。
2. 貸倒引当金は受取手形や売掛金に対する(②)勘定である。
3. 株式会社の資本は、株主からの出資額を表す資本金と、経営活動から獲得した利益の留保額を表す(③)に区別して表す。
4. 企業の経営活動の結果、期末資本が期首資本より大きくなった場合の差額を(④)という。
5. 仕入・給料・広告宣伝費など、経営活動の結果として資本が減少する原因を(⑤)という。

[語群]

ア 評価	イ 当期純損失	ウ 貸借対照表	エ 入金
オ 出金	カ 損益計算書	キ 当期純利益	ク 費用
ケ 収益	コ 財貨	サ 振替	シ 繰越利益剰余金

第2問対策 第4回 (答案用紙)

(1)

損		益	
3/31	仕入 ( )	3/31	売上 45,000,000
”	その他費用 13,050,000	”	受取手数料 1,800,000
”	[ ] ( )		
”	[ ] ( )		
	<u>( )</u>		<u>( )</u>

利益準備金			
( )	[ ] ( )	4/1	前期繰越 990,000
	<u>( )</u>	( )	[ ] ( )
			<u>( )</u>

繰越利益剰余金			
6/28	未払配当金 450,000	4/1	前期繰越 1,170,000
”	[ ] 45,000	( )	[ ] ( )
( )	[ ] ( )		
	<u>( )</u>		<u>( )</u>

(2)

①	②	③	④	⑤

第2問対策 第4回 (模範解答)

(3)

損		益	
3/31	仕 入 ( 31,500,000 )	3/31	売 上 45,000,000
”	その他費用 13,050,000	”	受取手数料 1,800,000
”	[ オ ] ( 675,000 )		
”	[ エ ] ( 1,575,000 )		
	( 46,800,000 )		( 46,800,000 )

利 益 準 備 金			
(3/31)	[ ク ] ( 1,035,000 )	4/1	前 期 繰 越 990,000
	( 1,035,000 )	(6/28)	[ エ ] ( 45,000 )
			( 1,035,000 )

繰 越 利 益 剰 余 金			
6/28	未払配当金 450,000	4/1	前 期 繰 越 1,170,000
”	[ ウ ] 45,000	(3/31)	[ カ ] (1,575,000)
(3/31)	[ ク ] ( 2,250,000 )		
	( 2,745,000 )		( 2,745,000 )

1 つにつき 2 点 計 10 点

(4)

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
サ	ア	シ	キ	ク

1 つにつき 2 点 合計 10 点

第2問対策 第5回-1 (問題用紙)

(1) 京橋株式会社の10月中の買掛金に関する取引の勘定記録は以下のとおりである。下記勘定の空欄のうち、(①)～(⑤)に入る適切な金額を答えなさい。なお、仕入先は下記2店のみとし、買掛金の支払いは普通預金口座による。各勘定は毎月末に締め切っている。

総勘定元帳

買掛金

10/5 ( )	264,000	10/1 ( )	1,200,000
8 普通預金	480,000	10 ( )	984,000
16 ( )	840,000	15 ( )	840,000
20 ( )	264,000	18 仕入	( ① )
25 普通預金	( ② )		
27 普通預金	600,000		
31 ( )	840,000		
	( )		( )

仕入先元帳

岡山商店

10/5 支払い	264,000	10/1 ( )	528,000
20 支払い	( )	10 仕入れ	( ③ )
27 支払い	600,000		
31 ( )	384,000		
	( )		( )

山口商店

10/8 ( )	480,000	10/1 ( )	( ④ )
16 返品	( ⑤ )	15 仕入れ	840,000
25 支払い	( )	18 ( )	912,000
31 ( )	456,000		
	( 2,424,000 )		( 2,424,000 )

第2問対策 第5回－2（問題用紙）

- (2) 島根商事株式会社の X1 年 12 月の取引は次のとおりである。これらにもとづいて、それぞれの日付の取引が、答案用紙に示したどの補助簿に記入されるか、答案用紙の解答欄に○印を付しなさい。
- 2 日 先月に株式会社鳥取商店より建物 ¥4,800,000 と土地 ¥5,760,000 を購入する契約をしていたが、本日その引渡しを受けた。この引渡しにともない、購入代金のうち ¥2,400,000 は契約時に仮払金勘定で処理していた手付金を充当し、残額は当座預金口座から振り込んだ。
- 7 日 株式会社島根商会から商品 ¥960,000 を仕入れ、代金のうち ¥672,000 については約束手形を振り出して支払い、残額は掛けとした。なお、引取運賃 ¥33,600 については小切手を振り出して支払った。
- 12 日 兵庫商店株式会社に商品 ¥1,272,000 を売り渡し、代金のうち ¥840,000 については同店振出しの約束手形を受け取り、残額については掛けとした。なお、当社負担の発送費 ¥52,800 については小切手を振り出して支払った。
- 15 日 12 日に兵庫商店株式会社に売り渡した商品の中に、異なる商品が混入していたため、¥76,800 分の返品を受け、掛代金から差し引くこととした。
- 17 日 株式会社福井商事にかねて注文しておいた商品 ¥864,000 を引き取り、代金については小切手を振り出して支払った。



第2問対策 第5回 (模範解答)

(1) 各2点×5か所 10点

①	②	③	④	⑤
912,000	648,000	984,000	672,000	840,000

(2) 各日付ごと (5日分) 2点×5日分=10点

帳簿 日付	当座預金 出納帳	商品有高帳	売掛金元帳 (得意先元帳)	買掛金元帳 (仕入先元帳)	仕入帳	売上帳	受取手形 記入帳	支払手形 記入帳	固定資産 台帳
12	2	○							○
	7	○	○		○			○	
	12	○	○	○		○	○		
	15		○	○		○			
	17	○	○			○			